

夏休み燕岳ハイク 山行報告

(山城) 北アルプス南部
(コース) 中房温泉～燕岳ピストン
(日時) 8月15日(月) 5:45～16日(火) 11:00
(天候) 8/15 晴れ→曇り・一時雨→晴れ、8/16 晴れ→曇り
(参加者) (CL)佐藤、会員外(長男・中2、次男・小4)

【1日目】 晴れ→曇り・一時雨→晴れ

(山行タイム) 中房温泉 05:45—08:30 合戦小屋 08:50—09:50 燕山荘 14:45—燕岳—15:50 燕山荘

長男とは小4の頃から夏休みに北アルプスの3～4泊縦走を続けて5年目になる。今年は部活動が毎日のようにあるので、お互いに都合があうのはこの2日くらいしかない。次男は今回が北アルプスデビュー。1泊ということで奮発して小屋泊、色々と評判のよい燕山荘(えんざんそう)・燕岳(つばくろだけ)に決めた。長男は最近あまり登りたがらないが、燕山荘宿泊と伝えたらすぐに釣れた。ちょろいものである。

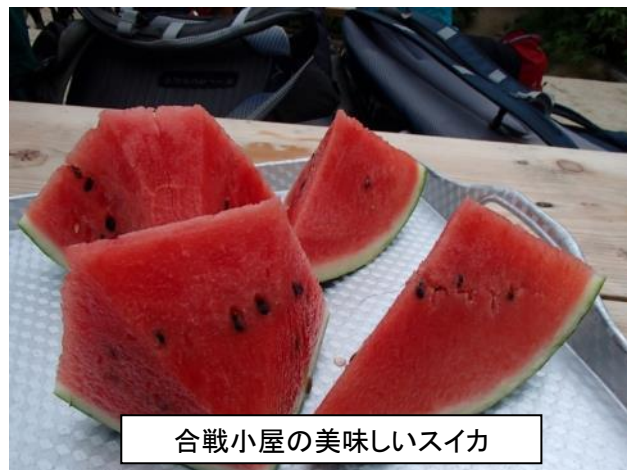
前日までの烏帽子・船窪・針ノ木山行で帰宅したのは8月14日の午前1時すぎ、その日の夕方18時頃、支度を整えてまた同じ方向に車を走らせた。今度は自分ひとりの運転なのがツライ、よくやるなあ自分。幕張から市川あたりまで東関道は混雑していたが、その後は割りときいていて、23時頃には穂高駅周辺に到着した。この時間なら中房温泉Pに止められると期待し、中房線の暗い道路をグイグイと登ることにする。たかが10km、されど夜道だとずいぶん心細く長く感じる。子どもは夢の中だし。到着すると案の定、空きがあり8割くらいの駐車率、第2駐車場に停めて車中で仮眠する。標高1500m近くあるのにやけに暑く寝苦しい夜だった。

朝4:30に起床、朝はさすがに冷える。カップ味噌汁とおにぎりでお腹を満たし、身支度を整えて5:30頃出発、登山口まで少し上がって記念撮影。5:40にいよいよ合戦尾根を登る。合戦尾根は北アルプス三大急登の一つとか言うけれども、実際には良く整備されていて非常に登りやすい。合戦小屋までに休憩に適した広場が4箇所あって、順に第1・第2・第3・富士見ベンチと名付けられている。それぞれが30～40分程度の間隔なのでペースがつかみやすい。特に危ないところはないので、ゆっくり適当に登ってもらい、それぞれのベンチで小休止しながら徐々に高度を稼ぐ。標高2000mあたりに達したところで眼下に雲海が広がり、次男は見慣れないので喜んでいる。



中房温泉の登山口から出発！

標高約 2350m の合戦小屋の名物と言え、甘〜い波田産のスイカである。1カット 800 円とお高いが、急登を登ったご褒美、2カット買ってそれぞれ3つにカットしてもら。さすが日本一の折り紙付き、子どもも大絶賛である。雲行きが怪しく今にも雨が降りそうなので、スイカを堪能した後、早めに燕山荘を目指して出発する。合戦沢ノ頭まで一気に上がると 2489m、このあたりが森林限界だ。あとは緩い登りで小屋までは1時間もかからない。が、小屋まであと 30 分というところでポツポツと降ってきたので雨具を着て再出発。ところが雨具を着ると止む、そういうものである。普通なら小屋が前方に見えるところだけ、ガスが立ち込めていて何も見えない。小屋が見えたのは 30m 下まで近づいてからだった。10 時ちょっと前に燕山荘に到着。休憩込で 4 時間くらいだろうか、結構早い、子どもは元気だ。部屋の案内は 11 時からなので、食堂でお菓子を食ったりお茶を飲んだりして時間を過ごす。食堂で火が使えるのは大変ありがたい。



合戦小屋の美味しいスイカ



燕山荘でケーキセットとビール

部屋は一番奥の新館に案内された。これがすごく綺麗で快適、トイレでも寝袋敷いて寝られそうな清潔感である。案内してくれた若くてかわいい女性スタッフが、小学生以下へのサービスとして「登頂証明書」を読み上げて渡してくれた。みんなでパチパチパチ、と拍手。次男は緊張したのか神妙な面持ち。いいですね、こういうサービス。子ども料金も安くてファミリーにとっても優しい。最初はガラガラだった部屋が、12 時頃にはどしゃ降りのなか到着した登山客でどんどん埋まっていく。最終的には布団 2 つを 3 人で使うスペースだった。夕方に晴れ間が出るという天気予報をあてにして、しばらく部屋や食堂で時間をつぶす。



14 時すぎ雨があがりあつという間に見事に青空が広がっていく。風が少しあるが雨具を着用し、30 分くらい先の燕岳に向かう。このあたりは花崗岩が砕けた白い砂礫帯で、見ごろは過ぎたがコマクサがた

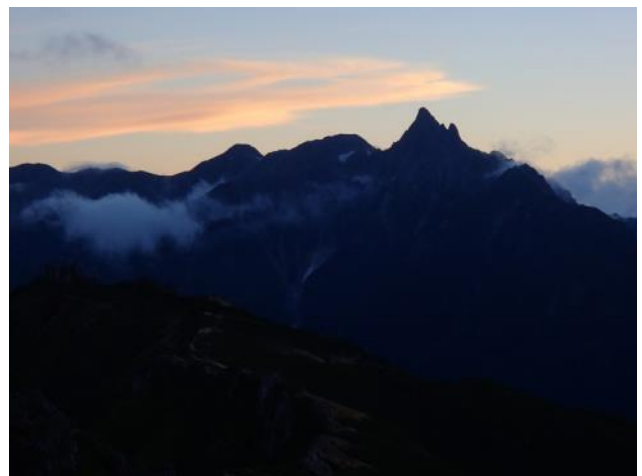
くさん咲いている。行く先々には自然の造形美、有名なイルカ岩、メガネ岩などを眺めながら進んでいく。燕岳山頂で記念撮影のため並んでいたときアクシデント発生！カメラをポケットから出すときに何かの紙片が強風でピューと飛んでいく。あ、あれは夕食のチケット、ガーン。と、思っていたら下にいたお兄さんがナイスキャッチ！お兄さん、ありがとう！安堵と感謝のあと、燕岳からは 360 度のパノラマ、立山・劔岳、槍・穂高、先日行った烏帽子岳・蓮華岳、など最高の景色を堪能した。



燕岳山頂にて(2763m)



イルカ岩と槍



小屋に戻ってお待ちかね夕食タイム。うわさ通りたいへん美味しく、生野菜やデザートもあるのはとてもうれしい。いつもは小食の次男もみんなおかわり君。食事を取りながら赤沼代表のお話を聞いて最後にアルプホルン演奏を披露。室内でよく響くせいか、単なる気のせいか、本場のスイス山行で聞いたときより音色がいい。気分よく 20 時くらいには眠りにつき、朝までぐっすり寝た。ちなみに赤沼さんのお話の要旨は以下のとおりである。

- ・高山植物保護のため登山道を外さないこと、キツネとか野生動物に餌をあげちゃダメ
- ・ストックは使わなくて済む人は使わないこと
- ・人気商品、燕まんじゅう、食べる甘酒を買ってね

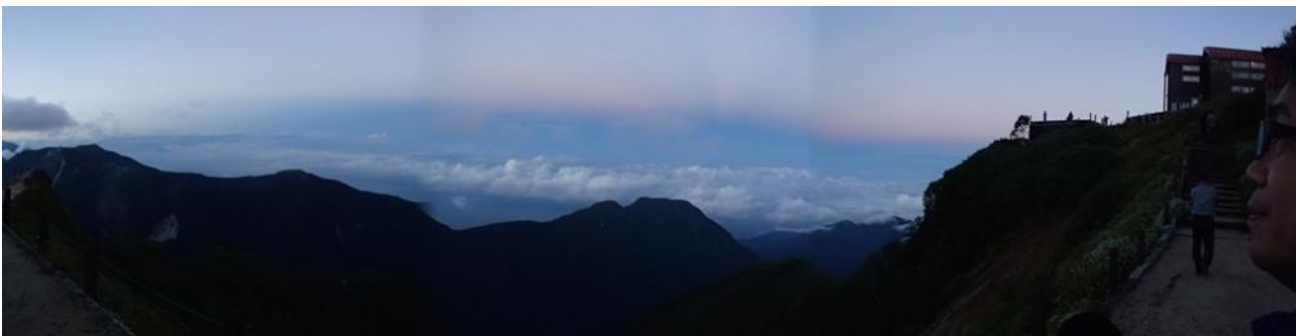
【2日目】 快晴→曇り

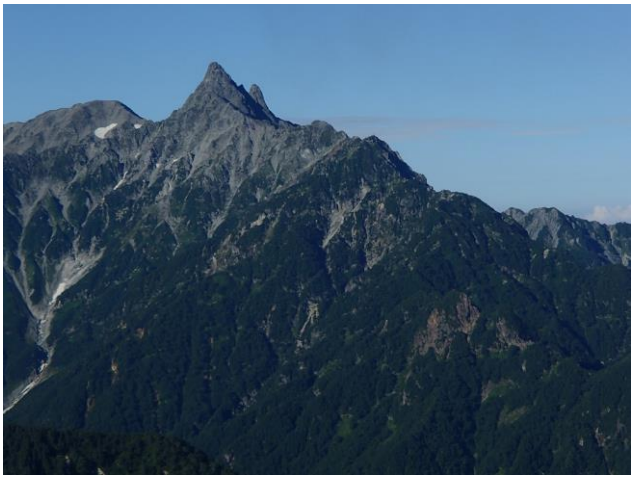
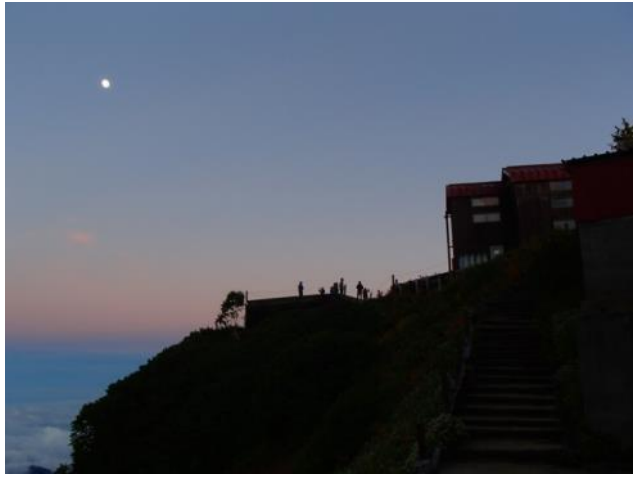
(山行タイム) 燕山荘 06:30—蛙岩—07:40 燕山荘 08:00—合戦尾根—11:00 中房温泉—温泉・帰葉

翌朝も見事な快晴。翌日も晴れるとは思っていなかったので非常にうれしい。雲海からは見事なご来光、槍もみんなの笑顔も赤く染まる。みんな幸せだ。朝食を取ったあと、このまま下るのはもったいないので、蛙岩（げえろ岩）まで往復ハイキングする。途中、雷鳥親子と遭遇し撮影タイム。いろいろと運がいいなあ。今年生まれたヒナは、もうウズラ並みの大きさに成長している。

名残惜しいが天気は下り坂なので、8時頃に燕山荘を後にして合戦尾根を下り、3回ほど休憩をとって 11 時には下山完了。登山口の「湯原の湯」に浸かって疲れを取る。ここは洗い場、露天風呂のみで、子どもには新鮮だった。

事前の天気予報では雨・曇りで、雨中の登山や眺望なしも仕方がないかと思っていたが、思いがけず晴天に恵まれタイミングも良かった。北アルプスの山稜や高山植物、雷鳥など、日常とは離れた自然に触れ、子どもたちの心に深く刻まれたことだろう。幼い頃の原体験、特に山での経験はとても貴重だと思う。成長してからも今回の山行を思い出したり、今後の人間形成に何らかの形で良いほうに作用してもらえれば嬉しい。子どもは無理だが、今度は厳冬期に行きたいと思う。







立山、劔岳



針ノ木岳、蓮華岳



ぐえ～～



今年生まれだよ